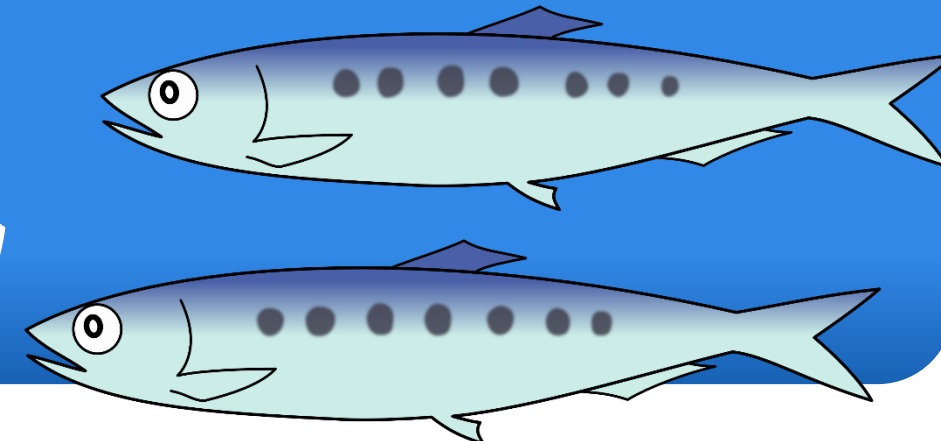


シラス船びき網漁獲物におけるイワシ類稚仔魚の魚種組成



背景と目的

福島県では機船船びき網によりシラスを漁獲しています(図1)。シラスの漁況は海況等により大きく変動しますが、船びき網漁業者の計画的・効率的な操業を支援するために、漁況予測技術の開発が求められています。

漁獲されるシラスは、マイワシ、ウルメイワシの稚仔魚が混じることがありますが、大半はカタクチイワシ仔稚魚(図2)が占めています。カタクチイワシ以外の種が増えた場合、漁況予測技術の開発に影響が出ることから、漁獲物の魚種組成について調べました。



図1 シラスの水揚げ風景



図2 カタクチイワシの仔稚魚

方 法

令和5年6～11月に相馬地区、いわき地区において水揚げされたシラス漁獲物から月1回サンプルを採取し、カタクチイワシ、マイワシ、ウルメイワシの3種(図3、4)に選別して計数し、全長を測定しました。

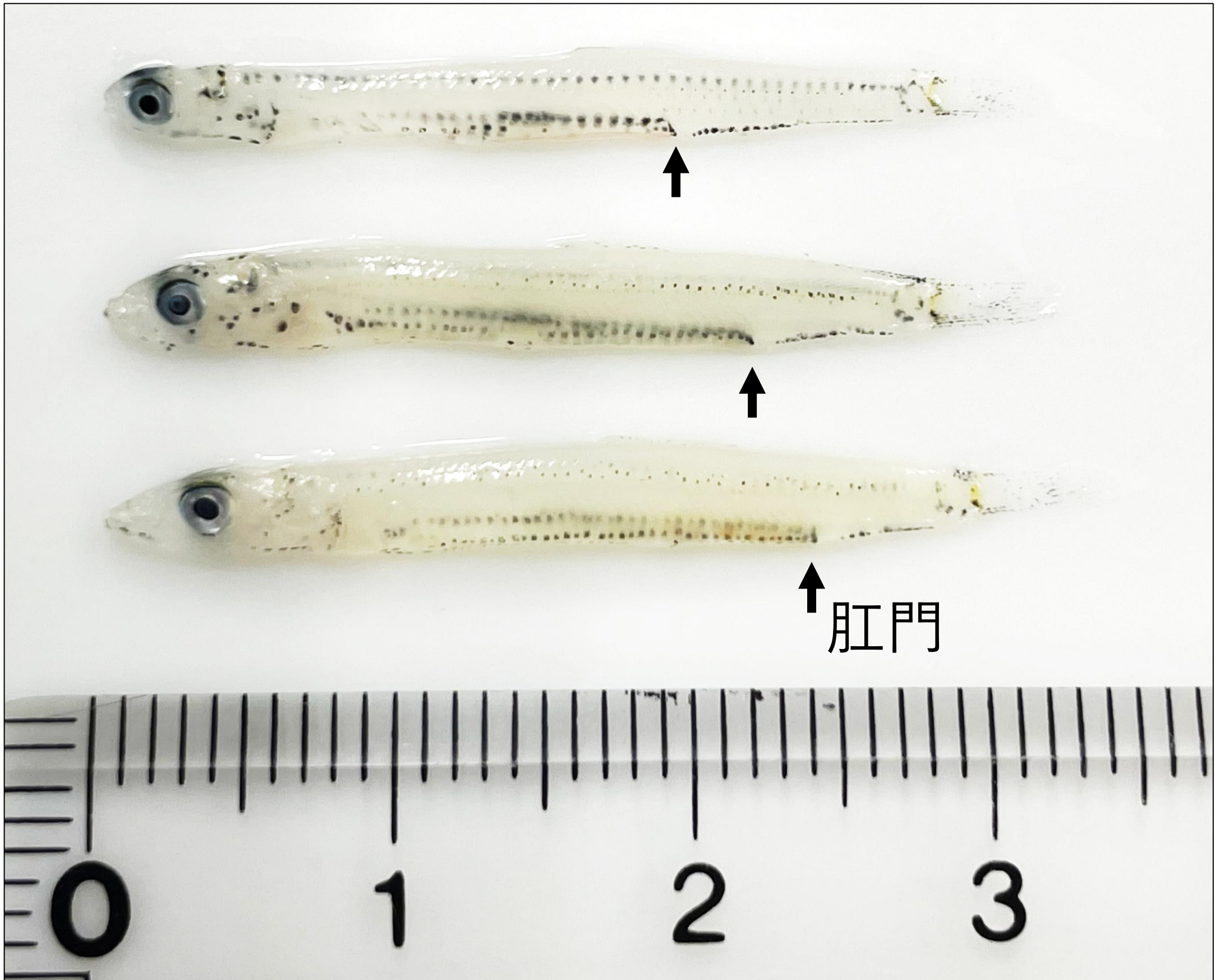


図3 カタクチイワシ(上)、マイワシ(中)、ウルメイワシ(下)

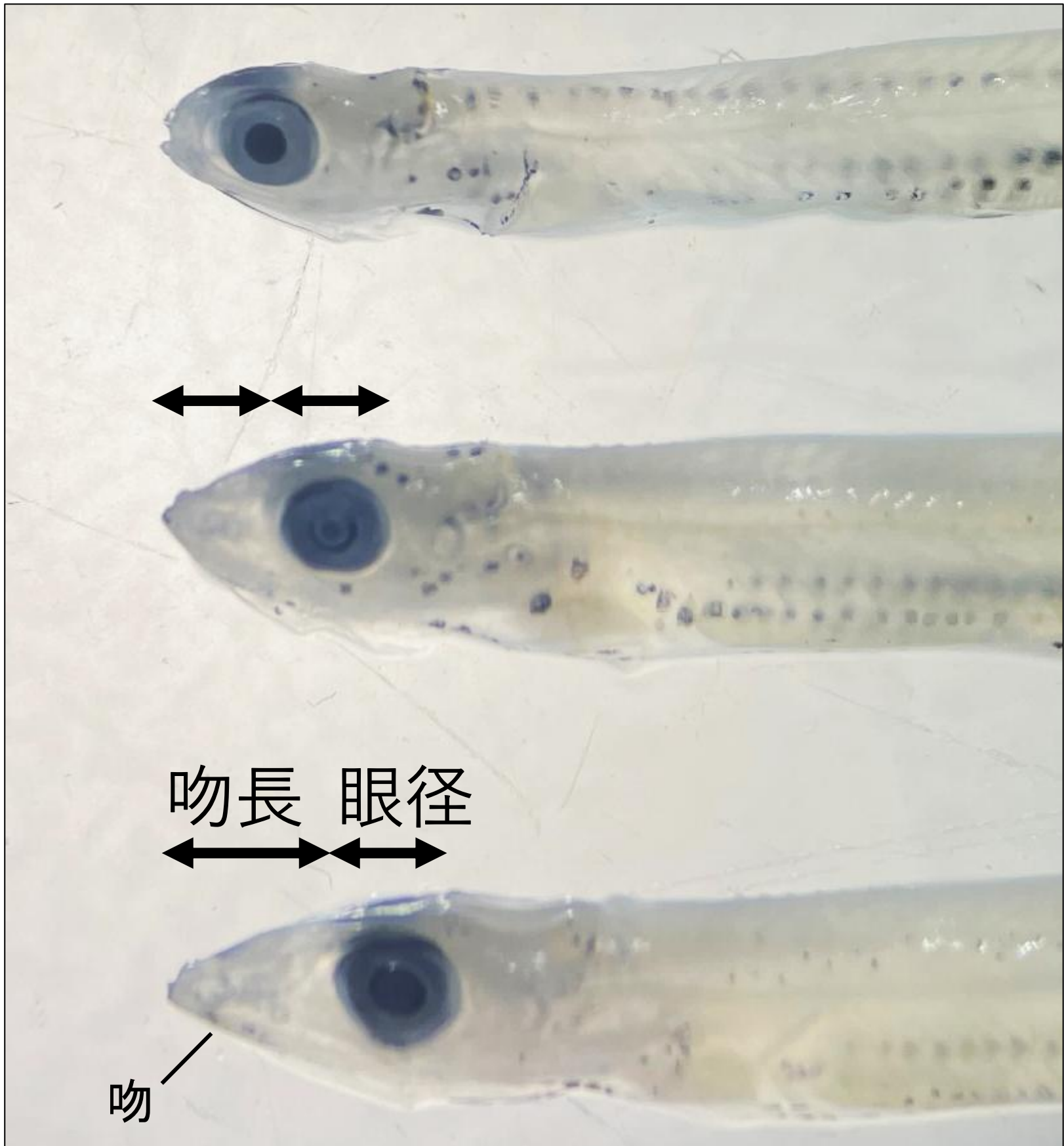


図4 カタクチイワシ(上)、マイワシ(中)、ウルメイワシ(下)の頭部

イワシ類仔稚魚3種の見分け方

- 1 肛門の位置(図3)。
カタクチイワシ：体の7割前後。
マイワシ：体の7割～8割。
ウルメイワシ：体の8割程度。
- 2 吻・頭部の形態(図4)。
カタクチイワシ：丸みを帯びて突出。
マイワシ：やや突出。
吻長は眼径と等しいかより長い。
ウルメイワシ：著しく尖って突出。
吻長は眼径より長い。

沖山宗雄編、「日本産稚魚図鑑第二版」、東海大学出版会(2014)

結 果

1 全長

カタクチイワシの仔稚魚の全長は8.9～39.2mmでした(表1)。

ウルメイワシの仔稚魚はいわき地区のみで確認され、全長は20.0mm～25.0mmでした(表1)。

2 魚種組成

いわき地区で7月にウルメイワシの稚仔魚がわずかに確認されたのみで、カタクチイワシの稚仔魚がほとんどを占めていました(表1)。

表1 シラス漁獲物の全長範囲、個体数、魚種組成

地区	年月	サンプルを 採取した隻数	全長範囲(mm)		個体数(尾)			魚種組成(%)		
			カタクチ	ウルメ	カタクチ	マイワシ	ウルメ	カタクチ	マイワシ	ウルメ
いわき	R5.6月	1隻	12.1～39.2	-	134	0	0	100	0	0
	7月	1隻	8.9～38.7	20.0～25.0	764	0	15	98.1	0	1.9
	8月	4隻	23.6～38.2	-	216	0	0	100	0	0
相馬	R5.7月	2隻	13.2～35.3	-	137	0	0	100	0	0
	8月	5隻	13.5～34.7	-	280	0	0	100	0	0
	9月	8隻	10.6～34.6	-	689	0	0	100	0	0
	11月	7隻	17.1～38.4	-	843	0	0	100	0	0

ま と め

機船船びき網で漁獲されたシラスの大半はカタクチイワシでした。ウルメイワシ稚仔魚がわずかに混入していましたが、マイワシ稚仔魚の混入はみられませんでした。